



# 介護者だより No.330

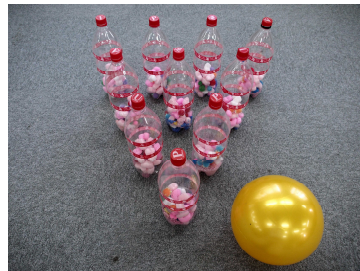
平成29年2月1日  
多可町社会福祉協議会発行

1月は何年ぶりかというほどの大雪が降りましたね。しかし、もうすぐ立春！まだまだ寒い日も続くと思いますが、三寒四温と言うように少しずつ暖かい日も増えてくるのではないのでしょうか。

さて、多可町介護者の会では1月に新年会を行いました。参加されたみなさんからの景品持ち寄りで行ったビンゴゲームでは、昨年に神河町介護者の会からいただいたカラフルでかわいい手作りボーリングも使いながら盛り上がりました。

また、2月の多可町介護者の会では、多可赤十字病院のご協力をいただき、介護技術講習を計画しました。質問に答えていただく時間もあります。みなさんもぜひご参加ください。

手作りのボーリングも  
楽しみました☆



## 介護のポイント

### ～認知症の母を心配するご近所の進言に戸惑い～

株式会社日本医療企画「かいごの学校 web」参照

高齢の両親は2人暮らし。認知症の母は最近になって徘徊が始まり、近所の方から「もうお父さんだけでは世話しきれないのでは」「引き取らないなら施設も考えては」と娘の私に電話があり、ありがたい半面、正直戸惑っています。(東京都・ぺんぺん草さん・51歳)

#### 【答える人】

認知症の人と家族の会 東京都支部

発足28年になる「認知症の人と家族の会」では、全国43支部それぞれで無料電話相談を行っている。



専門家が答えてくれる

「一問一答よろず相談」

《よく事情を説明し理解者になってもらおう》

「いざという時は、遠くの身内より近くの他人が頼りになる」というのは介護家庭からよく聞くホンネですが、介護者（この場合はお父さま）がご近所と付き合いにもコツがあります。

「ただ話を聞いてもらいたい」場合はそのお願いだけで良いですが、何か手伝ってほしい場合は、できるだけ具体的をお願いしてみてください。周囲は何かしたくてもどうしていいかわからないし、「下手に手を出してかえって迷惑になってもいけない」と気を使っていることも多いのです。

この相談者のように、ご近所さんの進言に困るケースもあります。たとえば「うちの場合はこうだったから」と、考えを押しつけてくるタイプ。良かれと思ってのことですが、アドバイスが役に立つとは限りません。こういう場合は気遣いに感謝を表しつつ、介護はその家その家で状況が違ってくることが伝わるように、事情を説明してみましょう。「認知症」や「施設」をめぐる偏見や噂話に、決して振り回されないようにしましょう。事情を知らないで言っていることが多いからです。

お父さまが認知症介護を隠そうと「抱えこみ」傾向にならないために、また1人での介護は自分の決断に自信が持てなくなることも時々あることも踏まえて、ご近所の方々にお父さまの理解者になっていただけるように促されてはいかがでしょうか。

「かいごの学校」はインターネットでも見ることができます☆介護に関するいろんな情報が掲載されていますよ♪  
ホームページ <http://www.jmp.co.jp/hlw/new/>

### 映画鑑賞会及び講演会のお知らせご案内

と き 3月5日(日) 午後1時30分開会  
と ころ ベルディーホール大会議室(中区中村町)  
内 容 映画「1/4の奇跡」、  
講演会 講師：山元 加津子 氏  
参加費 無料 ※どなたでも参加できます！



#### 《お問い合わせ、ご連絡先》

多可町社会福祉協議会

本部・中支部 32-3425

加美支部 30-8151

八千代支部 37-0360



### 多可町介護者の会 介護技術講習のご案内

と き 2月21日(火) 午後1時30分～3時30分  
と ころ 多可赤十字病院リハケアセンター(中区岸上)  
内 容 高齢者の食事援助について～誤嚥予防等～  
講 師 多可赤十字病院看護師  
持ち物 お茶、お水等の飲み物  
※動きやすい服装でお越しください。  
参加費 200円  
×切り 2月15日(水)



※介護者だよりはみなさんから寄せいただいた赤い羽根共同募金の配分金を使って発行しています。